

## 全米 No.1 ダンス専門誌「DANCE MAGAZINE」の表紙を飾る！

全米 No.1 のダンス専門誌「DANCE MAGAZINE 8月号」(世界 8 百万部発行)の表紙に、三代真史先生が起用されました。この雑誌の表紙を日本人が飾るのは、本当に希少価値が高いことであり、ダンス大国アメリカにその実力を認められたという大変名誉あること。

この 8月号の中面には、三代真史ジャズ舞踊団の特集が生まれ、サクセスストーリーの記事が 3面いっばいに掲載されています。下記に翻訳いたしました。是非、ご一読ください。



## JAPAN'S JAZZ MACHINE

### (見出し)

"While being grateful for taking part in this dance field, I will swear to create dance-art that is memorialized in the heart museum of the audience." -Kumiko Sakamoto

「ジャズダンスの世界に入れたことに感謝しつつ、観客の皆様の“心の博物館”に所蔵していただけるようなダンス芸術を創りだすことを心に誓っています」...坂本久美子

### (本文)

彼らは身構える虎でも地に伏す龍でもない。  
それはマサシ・アクション・マシーンとして知られる三代真史と仲間の10人ダンサーなのだ。

同団は1995年、三代と芸術監督、坂本久美子により日本の名古屋で設立され、疾風のごとくわずか4年で文化庁主催の国民文化祭でジャパン・カップを受賞。1990年にはソウルのオリンピックに出演。1992年にはさらに受賞を重ね、全日本ジャズダンス選手権グランプリ、名古屋市民芸術祭賞を獲得した。

三代真史は憤み深く、きわめて控えめな人柄である。しかし、若手ながら格別の才能と成果によって名声を博している。新体操選手として1979年西独で開催された世界体操選手権で入賞、日本学生選手権リズム体操部門では3年連続首位に輝いた。権威ある中京大学を卒業、ダンス・体操の講師として高い評価を得ており、現在は名古屋でダンススタジオ、(株)ダンスプロ、三代真史ジャズ舞踊団を主宰する。ほかに熱い情熱を注ぐのはポルシェ車で、日本ポルシェクラブの理事会員でもある。

坂本久美子は名門私立高校および大学で十全な教育を受け、完璧なマナーと魅力を備えた現代日本女性であるが、古典と伝統の素養も豊かである。彼女は非常に成功した会社役員と結婚しており、二人の間には、愛娘:その名もぴったりのタンゴさんがおり、ペットのビーグル犬もいる。坂本はバッファロー、ニューヨークでの2000年ジャズダンス・ワールド・コンGRESS(世界大会)におけるレオ賞振付コンテストで「ジャパン・ムーヴィング・メン」の振付により金賞を授与された。

「私たちは永年の友人になった」と約12年前彼らにVOPスタイルのジャズダンスを紹介したフランク・ハチェットは言う。振付家 坂本と三代はジャンプをジャズダンスに取り入れ、一体化した。ニューヨークのブロードウェイ・ダンスセンターで学びながら、彼らはアメリカン・ジャズを急速に吸収し、自らもつ日本的な伝統と客貌と一体化する行き方を採用したのである。「彼らは10日ほど見てもらいにやってきて私たちと共に演じたり、<文化交換>よろしく私たちも出向いて彼らと一緒に演じてみたりした。」とハチェットは回想する。「同じ年、私はさらに私のスタイルで彼らを教えるのに人を遣ったりした。それから彼らのコンGRESS参加をガスを奨めた。」

ある意味でハチェットとジョルダナーノはこのジャズ・カンパニーのアメリカでの名付け親なのだ。

こうして kongress の創立者兼会長のガス・ジョルダナーノによって、イリノイ州エバンストンのアメリカン・ジャズダンス・ワールド kongress (こう名づけられたのは 1990 年の第 1 回時) に招待されて以来、かれらは全回出演している。坂本は 1995 年 8 月、中京大学のキャンパスで kongress の共同主催者となった。

ジョルダナーノは説明する。「彼らは kongress に参加した最高の団体の一つだ。だからこそ毎回招待されるのである。彼らの作品は非常に人を楽しませる。しかし、それ以上に彼らの組織力、彼らの熱意、そして彼らの優しさが一緒に仕事をするのを楽しくしてくれる。個人的な感想を言えば、クミコとマサシとそのダンサー達と 1990 年の第 1 回 kongress で出会って以来の色々なこと、また 1995 年に彼らを名古屋に訪ねたことは、第二次世界大戦の退役軍人として私が日本に対し抱いていた負の感情を払拭する役割を果たしてくれた。」

この団体のダンサー達は公開オーディションによって選ばれる。彼らは体操やジャズダンスの技量のみで選定されるのではなく、彼らの個性や人格も大いに考慮される。トレーニングは極度に厳しく、出演者は技量を伸ばしスタジオの中で 1 つのユニットを形成することが求められる。「毎日練習しなさい」と坂本は人を介して伝える。その練習は、アメリカ人ダンサーとほぼ同様、出演者達がダンス教室の指導や、他の職業で一日を送った後に行われるのである。このことで上演プログラム振付上のリスクなしとしないがミスが増える余地はほとんどない。

マサシ・アクション・マシーンは男性と女性の両方から成っている。しかし明らかにスターである三代を除いては、ダンサー達は息を呑むような宙返り、跳躍、ジャンプであれ、シンクロの振付となると性の別はない。すべてのダンサーが、しばしば同じ衣装で、同じレベルの強靭さと難度で演じることが求められる。明らかに現代日本のグループらしく、メンバーは男女ともに、ステージ以外でも上下のスポーツウエアを着たり、モダンなイブニングウエアを着ているのが見受けられる。

坂本はためらいがちな魅力的な英語で、彼女の町・名古屋あるいは愛知県のおみやげをホスト・カンパニーに贈呈する際には伝統的な和服を着るが、一方バックステージでは、彼女は現役の芸術監督・振付家でもあるのだ。

このマサシ・アクション・マシーンの海外での熱烈な歓迎によって、1994 年シンガポールで、1996 年ハワイで、1997 年グアムでの公演が可能になった。さらに 2000 年には同団は 6 週間ヨーロッパツアーを行いスイス、ドイツ、フランス、オランダ、オーストリア、ルクセンブルク、ベルギーを訪れた。「同団、彼らの性格、芸術、伝統はヨーロッパ 6 ヶ国の観客に非常な歓迎を受けた。」とドイツのコンツェルトディレクション・ラントグラフのプロジェクト・マネジャー、アンドレアス・プファイファーは言った。プファイファーはマサシ・アクション・マシーンの 2000 年及び 2001 年ヨーロッパツアーを企画した。

「クミコさんとマサシさんとの仕事はすばらしい経験だ」と彼は説明した。「日本語を話す必要はない。しかし日本語と日本についての知識は持つべきで、言語の困難で合衆国や中国やヨーロッパと単に比較すべきではない。ツアーにかかわっている全員、特に創造チームは偉大で、あるものは、たとえば照明デザイナーのハルヒコ・ワタナベのようにかなり有名である。また、出演するすべてのアーティスト、ダンサーはすばらしい人間であり、アーティストである。」

坂本と三代の振付によるマサシの特徴を最もよくあらわす作品“NINJA Hanzou”はプログラムによれば「日本史に大きな役割を演じた頭脳明晰、かつ超人的な体力・敏捷性をもつ黒衣の間者たち」を提示する。よりアイロニーを帯びた傾向のものとして、日本のビジネスマンをユーモラスに描いた“Japanese Businessman”がある。彼らは過去 50 年日本の経済を築き上げ、いま酒を片手に熾烈な競争の日々を語り合う「企業戦士」である。「鍛えられた身体と高度のテクニクを求めるダンス表現は、振付師の想い(思想)の反映であり、ダンサーの感覚感情(エモーション)を通じて観客の魂を奪うのです。」と坂本は言う。

彼らは「現代の音楽を用いる日本のジャズ・ダンス・カンパニー」と定義されているが、その演技・演目はアジアの伝統に深く根ざしたスタイルとテーマを示している。彼らの柔軟性・体操の技能は、西欧の観客が北京のアクロバット(雑技)、モンゴルのサーカスあるいは運動選手(体操選手)に見るものと非常に近いが、同時に能や歌舞伎の伝統と同様、優れて日本的でもある。アジアの舞踊研究者スン・オック・リーは著書『動く瞑想』のなかで、日本の能が仏教伝来以前にルーツを持ち、14、5世紀に型が定まり、今日まで継承されていると述べる。彼女は能の上演の間に生じるとされる意識の4段階を次のように定義する。すなわち、演者の精神と肉体の合一から生じる簡素で力感のある所作、自己の覚醒と良いものと悪いものを区別する能力、演者の自発性を許す意識・無意識の持つ力の統制、それに演者が「即身成仏」の境地、もしくは「仏性」に触れることのできる超絶段階の4つである。

マサシ・アクション・マシンのダンサーたちは、たしかに能の伝統を継承するライン上にあるが、彼等のテーマはしばしば精神性といわぬまでも神秘性を見せているのであるから、他方で彼等は、大向こうをうならすエンターテインメント性に迎合し、単純かつスロウでデリケートな動きのスタイルを採ることを避けている。彼らのグランド・フィナーレにはきまって観客総立ちになって、拍手喝さいを惜しまない。

コンGRESの芸術監督、ナン・ジョルダーノは「彼らはステージの上であれ実生活であれ、体験するのが楽しみな人達です。」と言う。

マサシ・アクション・マシンはJ D W C 2001 における“THUNDER”振付で見たような演技で、(次回の)メキシコを席捲することを望んでいる。